履修年度：2025 年度　科目名：体育

コース名	科目名	シリーズ名		対象学年
良医の礎	体育			1
開講学期	科目責任者	副責任者		
1・2 学期	西松 伸一郎			

目的

建学の理念の１つである「体（ひと）をつくる」の一翼を担っている科目である。
医師に求められる強健な身体づくりを目指しているとともに、他者と積極的に運動に取り組むことを通じて、コミュニケーション能力ひいては臨床現場で求められる多職種連携・多職種協働に必要な経験を育むことを目的としている。

授業到達目標

1. 健康と運動・スポーツの関係について考え、健康の保持 ・増進に必要な体力（行動体力、防衛体力）について理解することができる。
2. 各スポーツのもつ本質的な楽しさを享受し、また他者とともに技能や戦術を高め、主体的に実践することができる。
3. 各運動種目の特性やルールを理解し、未体験の種目に対しても、他者と協同して積極的に取り組むことができる。
4. 自分のからだに意識を向け、現在の基礎的体力の維持・向上を図るとともに、心身のリラックス運動に取り組むことができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1･2	5/14	水	5･6	実習	枝松･後藤大朱	非常勤／医福大	バドミントン	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01
3･4	5/21	水	5･6	実習	枝松･後藤大朱	非常勤／医福大	バレーボール	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01
5･6	5/28	水	5･6	実習	枝松･後藤大朱	非常勤／医福大	バスケットボール	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01
7･8	6/11	水	5･6	実習	枝松･後藤大朱	非常勤／医福大	ソフトバレーボール	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01
9･10	6/25	水	5･6	実習	枝松･後藤大朱	非常勤／医福大	ユニホッケー	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01
11･12	9/24	水	5･6	実習	枝松･後藤大	非常勤／医福大	スポンジテニス／卓球	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01
13･14	10/ 8	水	5･6	実習	枝松･後藤大	非常勤／医福大	からだほぐし、有酸素運動、卓球	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01
15･16	11/ 5	水	5･6	実習	枝松･後藤大	非常勤／医福大	レジスタンス運動・バランス運動、卓球	PR-03-01-01,CM-01-01-01 IP-02-02-01

評価方法

[受講態度評価]60%（出席状況、実習でのマナーやルールを尊重し、積極的に取り組む姿勢や態度、これらを総合的に評価する。）
[その他]40%（実施した運動・スポーツについてのリフレクション（毎授業ごとの感想）を WebClass に提出する。）
[評価方法]受講態度評価、実習態度評価、その他（リフレクション）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて

特になし

教科書

特になし

参考書

特になし

準備学習（予習・復習等）

【1 度の授業に対する自宅学習時間の目安】予習：0.5 時間　復習：0.5 時間
日頃から自分の健康管理に努めるとともに、可能な範囲で基礎体力を高めておいてください。また、習得した運動（ストレッチング、レジスタンス運動など）を学生寮などで、できるだけ実践しましょう。

講義についての注意事項

運動に適した服装および体育館シューズを必ず着用して受講してください。
第１回から実技を行います。本科目は３名の教員が担当し、スポーツ系・レクリエーション系・フィットネス系の３つの内容が各体育館で行われます。
よって、グループ分けされたうえで、上記の３つの内容をそれぞれ受けていくこととなります。グループ分けおよび初回の集合場所は後日連絡します。
実習種目を変更することもあります。この場合は事前に連絡します。
積極的な姿勢・態度で参加し、受講時間を大切に過ごす意識・意欲を求めます。

履修年度：2025 年度　科目名：体育

科目内で実施予定のアクティブラーニング
資料配信以外で ICT（スマートフォン、タブレット、デジタルコンテンツ（moodle 等））を授業に導入し、能動的な学習に繋げている 競技中の学生間の対話。これにより、相手の立場を想像し思いやる資質や仲間と協力して物事を進める能力を醸成するとともに、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ素地を作る。
科目内で実施する形成的評価
実技の授業中に教員や学生（チームメイト）による声かけや鼓舞激励を繰り返すことが、形成的評価となる。
昨年度からの変更点・改善項目
実習担当者が一部変更となりました。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
この科目は、主としてコンピテンス・コンピテンシーの「Ⅰ．プロフェッショナリズム、生涯にわたって共に学ぶ姿勢」の「５．心身ともに適切に管理できる。」の達成と「Ⅱ.コミュニケーション能力」の中でも特に「４．礼儀・礼節と協調性を以て、他人と接することができる」「５．相手の意見を傾聴し、適切な言葉を用いて意思を伝達することができる」の達成に向けて設定されている。
ナンバリング
GTPH114